

【評価の概要】

提案された外観デザインの一の特徴は、東側外壁面を本館と相似形にすることで「武庫女ゲート」を表現し、武庫川学院の新たな顔を作り出そうとしている点です。

武庫川学院に誇りを感じ、敬意を表しキャンパスのよき伝統を継承していく事をベースに現状分析を行い、継承と改革を融合させようとするコンセプトは明快です。

一方で、外観デザインのみならず、エントランスの平面計画の見直しも提案することできめ細やかな動線計画の提案と、活力あるキャンパスの提案などへ繋がりを持った展開が見られます。

環境配慮提案としてトラス構造を利用したプラントボックスや雨水利用の灌水システムなどサステイナブルな要求を外観デザインと融合させるなど、女性ならではの提案となっています。

空間構成においてもハイサイドライト、多層空間のつながりのある断面計画、外部と内部を融合させるメッセージボックスなど生活環境学科での建築の専門分野での学習成果が随所に見られる、きめ細やかな提案となっています。